

研究管理番号	2025-004
実施診療科	消化器内科
作成日 版数	2025 年 01 月 22 日 第 1 版

研究のご案内

この研究は揭示のみで、患者さん個々からの同意を頂かなくても良いとされております
研究への利用を希望されない方は、下記お問い合わせ窓口までご連絡下さい

ESD後粘膜欠損部に対する 創部縫縮の後ろ向き検討

① 目的

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の偶発症の一つに後出血が挙げられます。

ESD 後の粘膜欠損部を縫縮することにより、後出血割合が胃で 12.4%から 5.4%、大腸で 5.5%から 1.2%に減少すると報告されております。

またこれまでは胃 ESD 後の創部縫縮は早期離開し困難とされてきましたが、近年新たに報告された縫縮法である Reopenable clip-over-the-line method (ROLM) は粘膜に加え筋層も把持して閉鎖するため創部閉鎖後離開しにくく有用であると報告されています。

2023 年より当科でも ROLM を導入し、胃や大腸の ESD 後粘膜欠損部に対し ROLM や従来のクリップ法で創部縫縮を行っております。その治療成績を後方視的に検討します

② 研究の対象となる方

2023 年 4 月から 2028 年 3 月まで ESD 後に創部縫縮を行った患者様

③ 研究実施期間

臨床研究審査委員会承認後～2029 年 3 月 31 日

研究管理番号	2025-004
実施診療科	消化器内科
作成日 版数	2025年01月22日 第1版

④利用・提供する情報

- ・研究対象者背景

年齢、性別、抗血栓薬内服の有無

- ・臨床検査

病変部位、病変径、切除径、術中偶発症、術後偶発症、創部縫縮時間など

⑤個人情報の管理

個人情報漏洩を防ぐため、群馬県済生会前橋病院においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）・研究主施設へ提供する際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません

⑥利益相反に関する事項

この研究において利益相反はありません

お問い合わせ窓口

臨床研究責任者：中野 佑哉（群馬県済生会前橋病院 消化器内科）

所在地：〒371-0821 群馬県前橋市上新田町 564-1

TEL：027-252-6011（代表）